

## 東日本大震災から5年を迎えて

2016年3月11日  
電気事業連合会  
会長 八木 誠

2016年3月11日で東日本大震災から5年を迎えた。

福島第一原子力発電所の事故により、発電所周辺地域の皆さまはもとより、多くの皆さまに、今なお、多大なご迷惑とご心配、ご負担をお掛けしていることを、同じ電気事業に携わる者として、大変申し訳なく思っている。

また、原子力発電所の長期停止に伴い、節電や値上げ等のご負担、ご心配をおかけする状況が続いていることについても、大変心苦しく思っている。

これまで事業者は、震災直後から、福島第一原子力発電所のような事故を二度と起こさないという強い決意のもと、徹底した原子力の安全対策に努めるとともに、新規制基準の内容を踏まえながら、安全性向上のために必要となる対策を検討し、実施してきた。

私どもとしては、新規制基準への的確な対応を図ることはもとより、規制の枠を超えて、原子力リスク研究センターや JANSI 等外部の機能も積極的に活用しながら、より高い次元の安全性確保に向け、取り組みを進めてまいり所存。

また、安定供給の確保に関しては、需要面で広く皆さまに節電のご協力をいただくとともに、供給面では、定期検査時期や補修時期の調整、長期停止を含む高経年化火力の継続活用等、各社の設備状況や需給状況に応じた最大限の対策を実施してきた。この結果、震災以降、何とか安定供給を維持することができたものと考えている。

私どもとしては、低廉で安定的な電力をお届けするという使命を果たすために、気を引き締めて、安全を最優先に取り組むとともに、今後ともたゆまぬ努力を続けることにより、社会の皆さまからの信頼回復に努めてまいり所存。

福島の復興については、今後の更なる復興の進展に期待するとともに、着実な廃炉作業の進展に向けて、引き続き、業界全体で支援してまいりたい。

以上